

ENJOY SPORTS

長野県体育センター 〒399-0711 塩尻市大字片丘字南唐沢 6342 - 4

TEL 0263-51-5400 FAX 0263-51-5401 E-mail taiikucen@pref.nagano.lg.jp

「もう一度授業を見つめ直すきっかけになった」

体育センター研修講座（後半）での学び

今年度の体育センター研修講座の全日程が終了しました。多くの方に受講していただきありがとうございました。後半に行われた講座について、その様子や内容を受講者の声と共にお伝えします!!

【幼少期の運動能力を伸ばすバルシューレ】

皆さんは『バルシューレ』をご存じですか？

バルシューレとはドイツ発祥の子どものために生まれたボール遊びであり、未就学児や小学生の専門的競技能力の前段階で「運動の基本動作」を身につけるプログラムです。

【バルシューレが生まれた背景】

- ・バルシューレは1998年にドイツのハイデルベルク大学で開発。
- ・誕生の背景の一つはドイツ・サッカー代表チームの低迷。
- ・外遊びの機会が減り、クラブチームで技術を磨くドイツの選手に対し、南米などの選手は幼少期の路上での遊びで身につけた多彩な動きが創造性豊かなプレーにつながると考えられた。
(幼いころから特定の競技のみを行う早期専門化が問題に)

日本でも同様の
課題が見られる



【講師】NPO 法人バルシューレジャパン
理事 福士 唯男 先生

日本でも低年齢層のスポーツ空間が「勝つこと、上手くなること」に支配されている状況が見られます。**幼少期から高度な技術を習得させるのは、オタマジャクシに陸で生活させるようなものです。子どもたちにはもっと運動の楽しさを知ってほしいと思います。**

バルシューレは子どもたちに指導的介入はせず、子どもがゲームの中で場面に対応しながら**自分たちで学びをつくる環境設定**を大切にしています。子どもたちが自由に、そして、創造的に運動を楽しむようにする大人の意識が大切です。



研修後の受講者の声

「子どもの遊びの気持ちから生まれる創造性が大切だと学びました。子どもの意識が“指導されているからやる”ではなく、“楽しいからやる”になるよう、指導者側の意識を大切にしていきたいです。」

「バルシューレを構成する3領域によって活動が変わってくるのが面白かったです。学校の器具庫にあるものを組み合わせることで、できることは無限に広がっていくと思いました。」

「体育の授業でも体づくり運動はもちろん、各領域の授業にも取り入れられるものが多く、早速明日からの体育に活かしていきたいと思います。また来年も受講したいです。」



この講座は、学校の先生方が数多く受講されておりました。バルシューレのスローガンにある「多様な運動を経験すること」「子どもの発達に即したものであること」「子どもたちに運動の面白さを味わわせること」は、学校体育にもつながる大切な考え方です。バルシューレの考え方を基に様々な運動を体験する中で、運動の方法だけではなく、指導者や教師の子どもへの育ちを願う意識や考え方を見つめ直すことができた研修講座となりました。

【仲間をつなぐ授業づくり～体育授業の基本を学ぼう～】



本講座は、中信地区（ユメックスアリーナ）、南信地区（中川村社会体育館）、北信地区（ことぶきアリーナ千曲）、東信地区（県立武道館）で、計4回行いました。

まずは先生方自身が運動の魅力を味わい、仲間とつながる体育の楽しさを感じることが、授業づくりのスタートになります！

「『教材研究』ってどんなことをしていますか？」



皆さんは教材研究というと、どのようなことを思い浮かべるでしょうか？講義の中で目黒専門主事が『教材』について受講者の皆さんに質問されていました。「教材研究とは」「そもそも教材とは」授業をつくっていく上では欠かせない『教材』について、受講者の皆さんとそれぞれの考えを共有しました。

そして、「教師が子どもにつけたい力」と「子どもが学びたいこと」にズレがないよう、「子ども理解」「素材研究と教材化」「問題解決の過程」の3つの視点に基づいた教材研究の考えから、受講者の皆さんが実際に授業づくりをしました。

クラスの子もたちは運動が苦手な子もいるので、易しい運動で、まずは一人一人が楽しめる運動から始めたい。（小学校1年生担任の受講者）



受講者の方は、実際の子どもの姿を思い描きながら授業づくりに臨んでいました。



研修後の受講者の声

「数時間の研修での関わりでしたが、今までのどの研修よりも先生方と深く関係づくりができた気がします。体育の力はすごいと実感しました。子どもたちがつながる授業づくりを、体育はもちろん、他の教科も含めて見直していきたいと思います。」

「子どもたちが運動の楽しさを味わうには、まず、先生自身が楽しそうにしていたり、肯定的な言葉がけをしたりしながら、どの子も安心して運動に取り組める環境づくりが大切だと思いました。」

「子どもの実態（素地や願い）をスタートとし、教師の願いをゴールとして考えると、これらをつなげていくこと、教材研究を通して運動との出会いや子どもたちから生まれてくるであろう問いなどを考えながら授業づくりをしていくことが大切だと感じました。」

「実際に自分が体を動かしてみると、その運動の魅力を感じることができ、『クラスの子たちならどうだろう？』と子どもの姿を思い浮かべながら教材を考えることができました。そうした教材研究の時間をしっかり作っていきたいです。」

来年度の体育センター研修講座も多くの方の受講をお待ちしています!!

総合型地域スポーツクラブ クラブアドバイザーについて

体育センター事務所に席を置き、県内のクラブや市町村を訪問し、総合型地域スポーツクラブ未育成市町村への設立に向けた普及・啓発活動や総合型地域スポーツクラブの継続的・安定的運営に向けた指導・助言などのアドバイスをしています。また、行政担当者や地域のスポーツ関係者などとの調整、総合型地域スポーツクラブ間の協働を促進するための活動、スポーツくじ助成に関する支援を行う活動、「登録・認証制度」の申請に向けた助言・支援を行う活動などを行っています。総合型地域スポーツクラブに関するご相談やご質問などお気軽にお問い合わせください。【 問合せ先 体育センター 0263-51-5400 】



この事業は、スポーツ振興くじ助成金を受けて実施されています。